



田端中だより

令和8年9月1日 第5号
北区立田端中学校
校長 関野 純一

<教育目標>

人権尊重の精神を培い、
国際社会と地域社会に活躍する生徒を育てる

<目指す生徒像>

自他を愛しむ生徒
生命を尊ぶ健やかな生徒
自ら学び、自己実現を目指す生徒

～ 災害について考える ～ 校長 関野 純一

40数日間の夏休みが終わり、1学期後半が始まりました。この夏休み中に「令和8年熊本地震（7月28日）」や「千葉豪雨（8月13日）」が起きました。この2つの天災に見舞われた多くの皆様には謹んでお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、9月1日がどんな日か思い出してください。9月1日は、1923年（大正12年）お昼少し前、10万棟を超える家屋を倒壊させ、多くの火災が発生した、相模湾北西部を震源とするマグニチュード7.9と推定される関東大地震が発生した日です。その発生日である9月1日を「防災の日」と定め、9月1日を含む8月30日から9月5日までの1週間を「防災週間」とし、各学校では避難訓練や安全指導を実施しています。本校の9月の避難訓練は防災週間を過ぎてしまいましたが次週に行う予定です。

令和8年熊本地震は16時30分ごろ、能登半島地震は16時10分。東日本大震災は14時45分ごろと生徒が学校にいる時間帯に起こる場合や、十勝沖地震や阪神淡路大震災のように明け方の時間帯に起こる場合、10年前の熊本地震や北海道胆振東部地震のように夜の時間帯に起こる生徒がご家庭にいる場合と、この30年に起こっている大地震は時間や場所がさまざまであることがわかります。また、震度5以上の地震は令和になってから毎年5回前後発生していて、今年になってからはなんとすでに10回以上で北海道から沖縄まで複数の都道府県で発生しています。このことから考えると、いつ大地震が発生してもおかしくないのがわかると思います。

私自身隣県で経験した能登半島地震の揺れ方は、学校の体育館で経験した東日本大震災の比ではないほどの揺れでした。子どもも一緒にいたのですが一番冷静に対応していたのは、私ではなく学校で毎月避難訓練をしている子どもたちでした。毎月行っている訓練のたまものであると感じた瞬間でした。

そこで、この9月1日「防災の日」をきに、本校の避難訓練も年度途中ではありますが、9月の訓練から見直しを図っていきたいと考えています。次週実施いたしました後に今までとどんなところが違ったのかをお子様にご確認いただければと思います。また、ご家庭でも地震だけでなく、東田端で倒木が起こったような豪雨水害に対策をとるとともに、そのような時のご家族の集合（避難）場所なども確認するための機会にしていいただければと思います。

9月の主な行事予定

1日(火) 全校集会 薬物乱用防止教室
2日(水)
～ 定期考査
4日(金)
7日(月) 避難訓練
8日(火) 専門委員会
9日(水) 脊柱側弯症検診

10日(木) 中央委員会
11日(金) 小6体験入学
14日(月) 生徒朝礼
19日(土) 田端中ハローワーク
24日(木) 生徒会役員選挙
29日(火) 専門委員会
30日(水) 中央委員会

EC 那須

7月4日(土)～7月6日(月)の3日間、第2学年は栃木県にある「那須高原学園」にてイングリッシュキャンプを実施しました。

期間中は各クラスに6名(チーフ+キャプテン)の留学生が同行し、英語を使ったさまざまなコミュニケーション活動を行いました。初日、体育館で留学生と対面した直後は緊張した様子で、思うようにコミュニケーションがとれない生徒も見られました。しかし、3日間の活動を重ねる中で少しずつ打ち解け、最終日には生徒自らが積極的に留学生へ話しかける姿が見られるまでに成長しました。

この行事の目的は「英語を話すこと」ではなく、異文化理解を深めるとともに、話す・聞くといった基本的なコミュニケーション能力の向上を図ることにありました。生徒たちは3日間、英語を通じて言葉の壁を乗り越え、多様な文化を持つ人々と心を通わせる楽しさ・喜びを実感することができました。

ぜひご家庭におかれましてもイングリッシュキャンプの思い出を話題にさせていただき、生徒たちの目の前に広がる世界の大きさや未来について、お話ししていただけると幸いです。



3年生租税教室

7月8日(水)5校時、3年生を対象に租税教室を実施しました。当日は、東京税理士会王子支部から鈴木まゆ子税理士をお招きし、所得に応じた税の負担額を考えるゲームなどを通して、税の仕組みを分かりやすく教えていただきました。また、税金の使い道を知り、主権者として政治の動きをしっかり見ていく大切さも学びました。自分たちの暮らしと税のつながりを、身近に感じるきっかけになったようです。

セーフティ教室

去る7月16日(木)、株式会社NTTドコモスマホ・ネット安全教室事務局より、講師として佐伯郁佳先生をお招きし、オンライン授業にて「セーフティ教室」を開催しました。スマホやネットを利用する上で、子どもたちが自分で情報を適正に判断し、活用する力を身につけることや、情報を活用する際、自分自身の行動にともなうリスクを意識し、リスクへの向き合い方と対処方法について、ワークショップを通じて学ぶことが目的です。

授業は2部構成でした。まずスマホやネット上におけるリスクの種類を考え、リスクの見積もりが人によって異なっていることを、クラス内で共有しました。次に、3人のプロフィール欄の例を見て、誰ならフォローしても良いか考え、クラス内で意見を交換しました。複数の目を見て、話し合うことで、意外と見落としがちな視点や、簡単に相手の言い分を信用してはいけないことを学びました。当日参観された保護者のなかには、お子様と一緒に意見交換し、協力して学びを深めた方もおられました。

